

# 宮崎大学発 都農町かわら版

令和8年6月号



宮大が都農町寄附講座等  
で行っている活動や情報を、  
定期的にお知らせします！



寄附講座とは、教育研究の進展及び充実を図ることを  
目的として、大学や研究機関などに対し寄附を行い講座を設置する制度です。町として  
単独での寄附講座の開設は全国的にも珍しく、**宮崎県内では初めての取り組み**です。

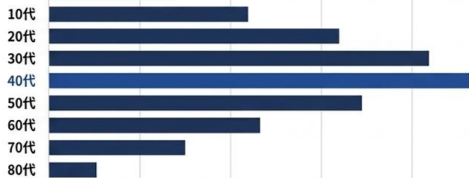
## 「都農をつなぐ」町民ワークショップ全6回終了！

4/24～6/3に各校区で2回ずつ開催した町民ワークショップは、延べ143名（1回目計74名、2回目計69名）の参加がありました。町の10年先と自分の未来を重ね合わせながら想像し、具体的な行動を考えるワークをグループ内で重ねたことで、異なる世代のニーズや視点に気づき、町の未来をより幅広い観点で考えるきっかけとなっていたようです。自治体就職志望の学生たちも、住民の生の声を聞く貴重な機会に多くの学びを得ました。ありがとうございました。今回は、町の未来のために町民ができる事に焦点を当ててワークを進めました。ご参加の皆様、今回考えた行動の輪を周囲に広げて、ありがたい10年後の町の姿への一歩をそれぞれが進めましょう。それが町の活性化となり、より良い未来につながります。ワークショップの結果については、町ホームページ等でお知らせする予定とのことです。



### 《参加者アンケート回答から見たワークショップの成果》

#### 幅広い参加層



- ・中学生・高校生（10代）から80代以上まで幅広く参加。
- ・まちづくりの中心となる40代を中心に、多様な声が集まる基盤が形成された。

#### 多世代交流による 視点の広がり

中学生から80代までが  
対話することで、自分にはない  
視点や経験を知る貴重な  
機会となった。



ワークショップで町の優先課題への  
見方が変わったと思う。89% (59/66名)

#### まちづくりの 「自分事化」が加速



多くの参加者が、参加後に  
「町を良くしたい」という思いが  
「とても高まった」と回答。

## 6/17 地域学基礎 都農学講話①都農ワイン

地域学部

1年生の必修授業での都農学3回シリーズ初回は、(株)都農ワインの赤尾社長に、地域と共に歩んできたワイナリーの歴史とこれからのチャレンジについて講話をいただきました。「みんなのワイン」が未来に向けてどのようなチャレンジをしていくのか、地域への貢献のあり方など、熱く語っていただき、学生からは次々に質問の手が挙がりました。ワインについて初めて聞いた学生が多い中、早速大学生の目線での企画提案もあり、「20歳になったら大学からツアーで行きたい」という声もありました。温暖化の生産量への影響や、価格設定と地域の人に愛され続けるための努力など、社長に直接伺う貴重な機会となりました。



## 6/18 都農中学校口蹄疫講演会がありました

中学校全校生徒を対象に、口蹄疫の歴史を風化させないための教育委員会の取組みとして、青木淳一獣医師による講演会が開催されました。寄附講座の取組みの一つとして、都農町の口蹄疫と復興についてのオーラルヒストリーをまとめて出版した書籍『混乱から復興へ』が、中学校の口蹄疫学習の副読本として、今年度から学習用タブレットに導入されています。口蹄疫発生から16年が経ち、小中学生は当時を知らない世代となっています。今後とも継続的に子どもたちが町の現代史に触れ、町への誇りを持つ機会となればと願います。

「都農をつなぐ」町民ワークショップ in 都農東小学校 (5月28日全)

本日のワークショップのゴール

- ① 町の課題を把握する
- ② 自分や自分の未来を想像し、具体的な行動を考える
- ③ 町を10年後の思い描く

ワークショップの流れ

① 町を10年後の思い描く

② 自分や自分の未来を想像し、具体的な行動を考える

③ 町を10年後の思い描く

3つのテーブルに共通する思い

- ・健康で安心して暮らす町にしたい
- ・子どもが安心して暮らす町にしたい
- ・多様な声が集まる町にしたい

3つのテーブルの思いをつなぐ。魅力を伸ばし、不安を解決しながら、みんなで10年後の都農をつくりたい！

生成AIが作成したワークショップまとめ一例

# 今月のけんこう講話(山末・坂の上・寺迫)

今年度も総合診療医による地区巡回けんこう講話が始まりました。6月の中旬までに3地区を回り、人生会議や熱中症をテーマにお話をしてきました。

人生会議とは、これからの生き方について前もって考えること、これからも大切にしたいことを自分や家族のために話しておく取り組みのことです。また、これから来る暑い時期に備えて熱中症予防のための水分補給や応急処置など再確認しておきたいものです。



6/10山末地区



6/15 坂の上地区



6/19 寺迫地区

今年度も多くの地区で色々な講話を開催したいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

## 6/18 つのまるケアミーティング

今回は都農町教育委員会のスクールソーシャルワーカーの黒木美香さんをお招きして都農町内の不登校児の現状についてお話いただきました。不登校傾向も含めると町内の小中学生で約10%程度いるのではないかとされているそうです。

一言で「不登校」と言っても色々な事情や原因があり、解決法は一つではありません。各生徒や家庭にとってどうすることが一番良いのかを常に模索していて、時には医療機関と連携してサポートすることもあるそうです。悩んでいる生徒本人や保護者の皆さんが実際に身近にいらっしゃることに思いを寄せて、子どもたちに明るい未来・住みやすい環境を届けられるよう、連携を深めていきたいと思ひます。



## コラム つのまるケア講座 日常の一コマ by 坂口先生

雨に濡れたあじさいが色鮮やかに咲く季節となりました。梅雨の時期は湿度や気温の変化が大きく、体調を崩しやすくなります。また、蒸し暑さから気づかないうちに脱水になることもあるため、こまめな水分補給を心がけましょう。雨の日は憂うつになりがちですが、雨音に耳を傾けたり、雨に濡れた草花を眺めたりしながら、この季節ならではの風情を楽しむのも良いと感じる今日この頃です。



## ☆☆今月の実習生紹介☆☆ 町立病院にて6/8~9/18 医学部医学科6年生 LIC長期臨床実習(8月夏休み除く)



あらたけ しゅんいちろう  
**荒武 俊一朗さん** 出身：宮崎市  
趣味・部活：バンド、フットサル部・漢方部・FMIG(地域医療・家庭医療のサークル)  
ひと言：関わる皆さんの温かさに助けられながら、学びの多い実習をさせてもらい感謝しかありません。患者さんから、そして一緒に働く方から信頼される医者に将来なれるよう精進していきます。3か月間よろしくお祈りします!

## 予告 今年もあります! 夏休み小中学生大学訪問企画 ~宮崎大学に行ってみよう~

日程：8月7日(金) 8:30~16:00  
対象：都農町在住小学5・6年生、中学生 および保護者(同伴必須ではありません)  
参加費：無料 定員：25名



バスで役場から宮崎大学を往復します。大学でミニ講座や見学ツアー、学食体験があります。チラシを学校からTetoruで配信します。 問い合わせ：教育課25-5723

申込フォーム



デジタル版

編集・作成：宮崎大学研究・産学地域連携推進機構  
発行日：2026年6月25日(原則毎月発行)  
発行元：一般財団法人つの未来まちづくり推進機構  
問い合わせ：0983-32-1270(つの未来財団)